



International Tropical Marine Environment Management Symposium 3



第3回国際熱帯海洋生態系管理シンポジウム



コズメルの風景

第3回国際熱帯海洋生態系管理シンポジウム (ITMEMS3) が2006年10月15日～20日にメキシコのコズメル (Cozumel) で開催されました (表1)。ITMEMSは、世界中のサンゴ礁と関連生態系 (マングローブ、海草藻場など) の管理者が集い、それぞれの管理活動から得られた経験や教訓をお互いに共有し、今後保全や管理をどのように発展させていけばよいかを議論するためのシンポジウムで、国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) の主要な活動の一つです。

サンゴ礁管理者を対象としたITMEMSは、サンゴ礁研究者のための会合である国際サンゴ礁シンポジウム (ICRS) と交互に開催されることが意図されており、これまで1998年にタウンズビル (オーストラリア)、2003年にマニラ (フィリピン) で開催されています。

今回のITMEMSでは、熱帯海洋生態系に関わる13のテーマ (表2) が選定され、それぞれのテーマ毎に2～4程度のワークショップが企画されました。ワークショップでは世界各地のケーススタディーが発表され、それらを基に、管理活動を向上させるための方策や課題について討議が行われました。

今回のITMEMS3には、サンゴ礁学会の会員を中心に日本から16名の参加 (9つの発表) がありました (表2)。



会場となった日 Cozumelホテル

表1. ITMEMS3のスケジュール

日付	議題
15日 (日)	登録、レセプション
16日 (月)	開会式 (ITMEMS3の説明、キーノートスピーチ) ・リージョナル・カーカス (地域会合)
17日 (火)	・リージョナル・カーカス ・ワークショップ・セッション (午前) ・ワークショップ・セッション (午後)
18日 (水)	・地方自治体首長会議 ・ネットワーク・セッション
19日 (木)	・ワークショップ・セッション (午前) ・ワークショップ・セッション (午後) ・リージョナル・カーカス
20日 (金)	・アクション・ステートメントの作成 ・アクション・ステートメント、リージョナル・カーカス・ステートメントの採択 閉会式

表2. ITMEMS3のワークショップ・セッションで討議されたテーマと日本からの参加者

セッションなど	発表者、参加者
テーマ1: サンゴ礁関連生態系の回復力とその管理	
テーマ2: 災害管理と再生・修復	藤原秀一 (いであ株式会社)
テーマ3: 法の執行能力の強化	
テーマ4: 漁業と養殖	鹿熊信一郎 (亜熱帯総合研究所)
テーマ5: サンゴ礁および関連生態系への人為的影響	渡辺俊樹 (東京大学海洋研究所)
テーマ6: 情報と知見の管理	
テーマ7: モデリングと判断材料	
テーマ8: サンゴ礁保全・管理における総合的・一般参加者の戦略	
テーマ9: 情報交換・教育・普及啓蒙	
テーマ10: 海洋天然資源の経済的評価	白比野浩平 (自然環境研究センター)
テーマ11: 持続的観光業と生態系管理	
テーマ12: パートナーシップと戦略的協力体制	岡地 豊 (コーラルクエスト) 高橋啓介 (環境省)
テーマ13: 持続的資金調達	
ポスターセッション	岡本峰雄 (東京海洋大学) 勝越清紀 (いであ株式会社) 宮本育昌 (コーラルネットワーク) 安村茂樹 (WWFジャパン)
その他参加者	小山田久美 (JFE技研) 木村 匡 (自然環境研究センター) 谷川 潔 (環境省) 中谷誠治 (亜熱帯総合研究所) 海岡和夫 (東京工業大学) 白比野浩平 (自然環境研究センター) 山本広美 (沖縄美ら海水族館)

全体会合の様子

来賓をお迎えする開会式

ネットワーキングセッションの様子

ワークショップの様子。13のテーマで活発に発表 (左)、質疑応答 (右) が行われました

第10日 ICRSの報告 (開会式) 海岡和夫

「国際サンゴ礁イニシアティブについて」 (開会式) 高橋啓介

「地方自治体のための、サンゴ礁に優しい政策と業務の事例 - サンゴ礁管理の優良事例」 (地方自治体首長会議) 中谷誠治

沖縄におけるオニエド対策、印地 賢

「石垣県自然再生事業におけるサンゴ幼生播種によるサンゴ礁再生」 藤原秀一

「多様な創業型参加によるサンゴ礁の再生」 沖崎康史
西條進の事、高橋啓介

「ミドリイシ種サンゴを用いた開閉したリスク評価」 渡辺俊樹

「日本のリーフチェック科学者養成講座」 宮本育昌

「石垣県自然再生事業におけるサンゴ幼生播種によるサンゴ礁再生」 勝越清紀

「バイオサイドがサンゴ礁環境に及ぼす潜在的な影響」 安村茂樹

ITMEMSの結果

ITMEMS3は13のテーマ、49のワークショップと2つの特別セッションから構成されていました。その結果、次の3つの主要な声明が出されました。

アクションステートメント

49のワークショップからは、熱帯海洋生態系の保全・管理を行っていく上で重要と考えられた400以上のレコメンデーション (提言) がレポートとして提出されました。その中から、今後5～10年に優先的に取り組むべき提言として「ITMEMS3アクションステートメント」がとりまとめられました。

リージョナル・カーカス・ステートメント

リージョナル・カーカス (Regional Caucus, 地域集會) では、6つの地域グループ (カリブ、中央アメリカ、東南アジア、西インド洋・紅海・ペルシャ湾、太平洋、南アジア) に分かれてそれぞれの地域の優先課題などについて議論を行い、「リージョナル・カーカス・ステートメント」を取りまとめました。日本が含まれる東南アジア地域へのステートメントには、ネットワーク強化のためのメーリングリストの立ち上げや2008年ICRSで地域セッションを実現させるなど、10の具体的な行動計画が盛り込まれました。

地方自治体首長会議

ITMEMS3のメインイベントの一つとして、「地方自治体と熱帯海洋生態系の持続的な利用」というセッションが行われ、世界7都市 (コズメル、ホノルル、タウンズビル、ララトンガ、ザンジャバ、アラミス、プエルト・プリンセサ) の首長が集まって、サンゴ礁を保全していく上で地方自治体の責任や役割について討議が行われました。会議では「サンゴ礁管理の優良事例」を題材に議論が進められ、最終的に「ITMEMS3コズメル宣言 - 地方自治体首長声明」が採択されました。